



平成23年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成23年10月6日

上場会社名 株式会社 ホテル、ニューグランド 上場取引所 大
 コード番号 9720 URL <http://www.hotel-newgrand.co.jp>
 代表者（役職名）代表取締役会長兼社長（氏名）原 範行
 問合せ先責任者（役職名）取締役経理部長（氏名）岸 晴記 (TEL) 045-681-1841
 四半期報告書提出予定日 平成23年10月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成23年11月期第3四半期の業績（平成22年12月1日～平成23年8月31日）

(1) 経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
23年11月期第3四半期	3,352 △13.0	△180 —	△180 —	△125 —
22年11月期第3四半期	3,853 △5.1	△115 —	△116 —	△78 —

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年11月期第3四半期	△21 51	—
22年11月期第3四半期	△13 54	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年11月期第3四半期	10,875	7,890	72.6	1,358 12
22年11月期	11,264	8,047	71.4	1,384 59

（参考） 自己資本 23年11月期第3四半期 7,890百万円 22年11月期 8,047百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年11月期	—	0 00	—	5 00	5 00
23年11月期	—	0 00	—		
23年11月期（予想）				5 00	5 00

（注） 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年11月期の業績予想（平成22年12月1日～平成23年11月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通期	4,330 △17.7	△300 —	△300 —	△200 —	△34 42

（注） 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

（注）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

（注）「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年11月期3Q	5,856,400株	22年11月期	5,856,400株
23年11月期3Q	46,333株	22年11月期	44,143株
23年11月期3Q	5,811,482株	22年11月期3Q	5,814,002株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
【第3四半期累計期間】	7
【第3四半期会計期間】	8
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期会計期間(平成23年6月1日～平成23年8月31日)におけるわが国の経済は、平成23年3月11日に発生しました東日本大震災や福島第1原発の事故により深刻な影響を受けましたが、企業の生産活動や個人消費などが徐々に回復し、震災前の状況を取り戻しつつ推移いたしました。ホテル業界におきましては、震災後の消費自粛の影響から回復の兆しが見えてきたものの、原発事故の影響による外国人利用客の減少が依然として続いており、今後においても厳しい状況で推移すると予想され、先行きは不透明な状況であります。

このような状況のもと、当第3四半期累計期間の売上高は、3,352,957千円(前年同四半期比13.0%減)となりました。

販売費及び一般管理費は、500,905千円の売上高減少が損益に与える影響を少しでも軽減すべく、震災発生後、人件費を中心にあらゆる費目についての経費削減に直ちに取り組んだ結果、前年同四半期比250,916千円減少し、2,433,824千円(前年同四半期比9.3%減)となり、営業損失は180,047千円(前年同四半期比65,033千円損失増)、経常損失は180,292千円(前年同四半期比63,829千円損失増)となりました。

この結果、当第3四半期累計期間の四半期純損失は125,028千円(前年同四半期比46,284千円損失増)となりました。

なお、当社が営むホテル業は、第4四半期に宴会(婚礼)需要が強く、売上高が多く計上される傾向があります。

なお、セグメント別の業績は以下のとおりであります。

(ホテル事業)

ホテル事業の当第3四半期累計期間の業績は、売上高3,310,614千円、営業損失199,056千円となりました。

なお、主な部門別の売上高は、宿泊部門700,910千円(前年同四半期比16.2%減)、レストラン部門886,924千円(前年同四半期比14.6%減)、宴会部門1,421,040千円(前年同四半期比12.5%減)となりました。

(不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業の当第3四半期累計期間の業績は、売上高42,343千円、営業利益19,008千円となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

資産合計は10,875,347千円（前事業年度末比389,427千円減）となりました。

主な要因は現金及び預金77,296千円の減少や、有形固定資産302,318千円の減少などがあります。

(負債)

負債合計は2,984,585千円（前事業年度末比232,573千円減）となりました。

主な要因は買掛金133,219千円の減少や、未払金47,385千円の減少、未払賞与50,600千円の減少などがあります。

(純資産)

純資産合計は7,890,762千円（前事業年度末比156,854千円減）となりました。

主な要因は利益剰余金154,089千円の減少によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ77,296千円減少し、583,197千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業収入3,416,020千円、原材料又は商品の仕入れによる支出1,285,528千円、人件費の支出1,173,621千円などにより営業活動によるキャッシュ・フローは49,936千円の支出（前年同期比40,211千円の支出減少）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出27,661千円やその他の収入5,576千円により投資活動によるキャッシュ・フローは22,084千円の支出（前年同期比21,440千円の支出増加）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金の純増加24,000千円や配当金の支払額29,061千円などにより財務活動によるキャッシュ・フローは5,275千円の支出（前年同期比47,182千円の支出減少）となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当期の業績予想につきましては、平成23年7月7日に公表しました「平成23年11月期第2四半期決算短信（非連結）」から変更はありません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 簡便な会計処理

繰延税金資産の回収可能性の判断

繰延税金資産の回収可能性の判断につきましては、前事業年度末以降の経営環境等に著しい変化が生じておらず、かつ一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度末において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

2. 特有の会計処理

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

なお、これによる損益に与える影響はありません。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位:千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成23年8月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	583,197	660,494
売掛金	193,472	234,133
原材料及び貯蔵品	81,539	78,860
繰延税金資産	113,467	78,980
その他	31,657	29,255
貸倒引当金	△270	△740
流動資産合計	1,003,064	1,080,984
固定資産		
有形固定資産		
建物	9,128,305	9,128,305
減価償却累計額	△3,284,037	△3,152,987
建物(純額)	5,844,268	5,975,318
土地	2,975,845	2,975,845
その他	6,558,868	6,543,637
減価償却累計額	△5,731,740	△5,545,241
その他(純額)	827,127	998,396
有形固定資産合計	9,647,241	9,949,560
無形固定資産	55,841	59,445
投資その他の資産	169,198	174,784
固定資産合計	9,872,282	10,183,791
資産合計	10,875,347	11,264,775
負債の部		
流動負債		
買掛金	237,686	370,905
短期借入金	424,000	400,000
未払法人税等	5,400	12,900
未払賞与	54,700	105,300
前受金	141,451	179,489
ポイント引当金	2,385	2,395
災害損失引当金	14,869	—
その他	199,904	263,917
流動負債合計	1,080,397	1,334,908
固定負債		
退職給付引当金	650,117	566,806
役員退職慰労引当金	119,455	131,506
繰延税金負債	171,136	220,387
再評価に係る繰延税金負債	668,704	668,704
その他	294,774	294,844
固定負債合計	1,904,188	1,882,249
負債合計	2,984,585	3,217,158

(単位: 千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成23年8月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,455,000	3,455,000
資本剰余金	3,363,010	3,363,010
利益剰余金	665,883	819,973
自己株式	△23,044	△22,279
株主資本合計	7,460,849	7,615,703
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2,185	△185
土地再評価差額金	432,098	432,098
評価・換算差額等合計	429,912	431,912
純資産合計	7,890,762	8,047,616
負債純資産合計	10,875,347	11,264,775

(2) 【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成21年12月1日 至 平成22年8月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成22年12月1日 至 平成23年8月31日)
売上高	3,853,862	3,352,957
売上原価	1,284,136	1,099,181
売上総利益	2,569,725	2,253,776
販売費及び一般管理費	2,684,740	2,433,824
営業損失(△)	△115,014	△180,047
営業外収益		
受取利息	145	71
受取配当金	1,374	1,412
受取保険金	3,076	867
その他	173	1,107
営業外収益合計	4,770	3,457
営業外費用		
社債利息	242	—
支払利息	5,606	3,615
その他	369	86
営業外費用合計	6,219	3,701
経常損失(△)	△116,463	△180,292
特別損失		
有形固定資産除却損	665	1,053
過年度ポイント引当金繰入額	2,513	—
災害による損失	—	21,387
その他	—	1,860
特別損失合計	3,178	24,301
税引前四半期純損失(△)	△119,642	△204,594
法人税、住民税及び事業税	2,181	2,805
法人税等調整額	△43,079	△82,371
法人税等合計	△40,898	△79,565
四半期純損失(△)	△78,744	△125,028

【第3四半期会計期間】

(単位: 千円)

	前第3四半期会計期間 (自 平成22年6月1日 至 平成22年8月31日)	当第3四半期会計期間 (自 平成23年6月1日 至 平成23年8月31日)
売上高	1,185,411	1,118,362
売上原価	383,852	348,557
売上総利益	801,558	769,804
販売費及び一般管理費	876,514	818,103
営業損失(△)	△74,955	△48,298
営業外収益		
受取利息	37	25
受取配当金	665	194
受取保険金	2,692	—
その他	100	—
営業外収益合計	3,494	220
営業外費用		
支払利息	1,636	947
その他	29	56
営業外費用合計	1,666	1,003
経常損失(△)	△73,127	△49,081
特別損失		
有形固定資産除却損	—	1,053
災害による損失	—	5,227
特別損失合計	—	6,281
税引前四半期純損失(△)	△73,127	△55,363
法人税、住民税及び事業税	1,007	911
法人税等調整額	△28,032	△20,796
法人税等合計	△27,025	△19,885
四半期純損失(△)	△46,101	△35,477

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位: 千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成21年12月1日 至 平成22年8月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成22年12月1日 至 平成23年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
営業収入	3,960,112	3,416,020
原材料又は商品の仕入れによる支出	△1,517,415	△1,285,528
人件費の支出	△1,434,810	△1,173,621
その他の営業支出	△1,030,379	△986,428
小計	△22,492	△29,557
利息及び配当金の受取額	1,520	1,483
利息の支払額	△3,784	△2,085
法人税等の支払額	△65,391	△14,937
災害損失の支払額	—	△4,839
営業活動によるキャッシュ・フロー	△90,148	△49,936
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△23,844	△27,661
保険積立金の解約による収入	22,000	—
その他	1,200	5,576
投資活動によるキャッシュ・フロー	△644	△22,084
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	400,000	140,000
短期借入金の返済による支出	△330,000	△116,000
長期借入金の返済による支出	△32,500	—
社債の償還による支出	△60,000	—
配当金の支払額	△29,073	△29,061
その他	△884	△213
財務活動によるキャッシュ・フロー	△52,457	△5,275
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△143,250	△77,296
現金及び現金同等物の期首残高	671,933	660,494
現金及び現金同等物の四半期末残高	528,682	583,197

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

(追加情報)

当第1四半期会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、「ホテル事業」及び「不動産賃貸事業」の事業を営んでおります。「ホテル事業」は、ホテル事業及びこれに付帯する業務をしており、「不動産賃貸事業」は、オフィスビルの賃貸管理業務をしております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期累計期間(自 平成22年12月1日 至 平成23年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益計算書計上額(注)
	ホテル事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,310,614	42,343	3,352,957	-	3,352,957
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	3,310,614	42,343	3,352,957	-	3,352,957
セグメント利益又は損失(△)	△199,056	19,008	△180,047	-	△180,047

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失(△)と一致しております。

当第3四半期会計期間(自 平成23年6月1日 至 平成23年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益計算書計上額(注)
	ホテル事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,104,394	13,967	1,118,362	-	1,118,362
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	1,104,394	13,967	1,118,362	-	1,118,362
セグメント利益又は損失(△)	△54,511	6,212	△48,298	-	△48,298

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失(△)と一致しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。